

授業改善推進プラン 算 数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立拝島第一小学校

学年等		項 目	内 容
令和5年度 第4学年	令和5年10月	学習に関する児童の実態・課題	○5月に実施した算数到達度調査の結果から、分数のたし算の学習の正答率が89%と高かった。また、単位の学習に関しても理解を深まっていることが、89%という高い正答率から知ることができた。 ○課題に対して前向きに取り組める児童が多く、学習意欲も高い。 ▲図形の問題に関する理解は不十分であり、正答率は35%と全体的に低かった。 ▲最後まで粘り強く考え、課題解決に取り組める児童が少なく、途中であきらめてしまう児童も見られる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・既習事項を活用し、課題解決に向けてすすんで取り組む力 ・最後まであきらめず、粘り強く課題に向かう力 ・たし算やひき算、かけ算やわり算などの基本的な四則計算を正確に行う力
		具体的な授業改善の方策	・学習の最後に、練習問題を解く時間を設け、基礎学力の向上を図る。 ・どの単元の授業の導入で既習事項を振り返り、既習事項と本時の学習とつなげる。 ・可能な限りペア学習やグループ学習を行い、根拠をもって自分の考えを伝え合う機会を設ける。 ・問題場面を数直線や表に表し、立式しやすくする。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○児童に合わせた板書や見本の示し方を工夫したことで、全体への指示が通りやすくなり、児童は見通しをもって題材に取り組めるようになった。また、基礎的・基本的な計算の順序を視覚化したことで理解を深めることができた。 ▲基本的な計算力の高まってはいるが、場面に応じた立式には不安を感じている児童も多いので今後も場面を捉えて立式する力を高めていきたい。 ▲自分の考えを伝え合う活動を増やし、考えや思いを発信する経験を増やすことで主体的な態度を育成す
令和6年度 第5学年	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	▲5月に実施した算数到達度調査の結果から、全体の正答率が50%弱と低く、未記入児童も多かったことから、学習意欲が低いことが分かった。 ▲基本的な計算能力(四則演算)が低い。 ▲最後まで粘り強く考え、課題解決に取り組める児童が少なく、途中であきらめてしまう児童も見られる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・基本的な計算能力(四則演算)。 ・文章から立式に必要な数字や言葉を抜き出し、正しく立式する力。
		具体的な授業改善の方策	・どの単元の授業の導入で既習事項を振り返って既習事項と本時の学習とつなげ、既習事項を活用し、自分の考えの根拠を示せるようにする。 ・可能な限りペア学習やグループ学習を行い、根拠をもって自分の考えを伝え合う機会を設ける。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	・立式の根拠を明確にし、考えを述べるができるようにする。 ・基礎、基本の計算において反復練習が必要である。
令和7年度 第6学年	令和7年10月	学習に関する児童の実態・課題	○算数が得意な児童が苦手な児童に対して、教える姿が見られる。 ▲既習の学習の理解に乏しい。 ▲思考過程や立式理由を問う、記述式の問題に課題が見られる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・既習の内容から、見通しをもって課題に取り組むことができる。 ・解答を式や答えだけでなく、文章や数式、図、表などを用いて説明できる。 ・単に答えを求めるだけでなく、思考過程や根拠を記述し、思考力や表現力を高める。
		具体的な授業改善の方策	・前時までの内容との共通点や相違点を明示し、本時の課題を明らかにする。 ・単に立式・計算し、解答を求めるだけでなく、「立式の根拠」や「計算で何を求めているのか」を明確にさせ、自分の考えを書かせる。 ・考えを互いに発表・交流させ、互いの考えの共通点や相違点を見付けさせる。
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	・既習の内容から、見通しをもって課題に取り組むことができた。 ・解答を式や答えだけでなく、文章や数式、図、表などを用いて説明できる児童が増えた。